

文教厚生委員会会議録

平成25年6月6日(木)

午後1時30分 開会

○澤田勝委員長

ただいまより、文教厚生委員会を開会いたします。

協議題に入る前に、5月24日に行われました、委員長連絡会議の報告を3点ほど行います。1点目、常任委員会の費用弁償についてですが、お配りしてあるレジュメにも記載してありますが、1人当たり、9万円以内で実施します。その他、議会運営委員会及び特別委員会は、1人当たり、4万5千円以内となっておりますので、ご承知置きください。

2点目、閉会中の調査事項についてですが、委員長連絡会議の中で、特に議長から強く話がありました。閉会中の調査事項のテーマですけれども、半田市での課題を十分に捉えたうえで、調査研究をしていただきたいということです。特に視察については、手段でありますので、視察ありきということではないですけど、手段ということを捉えたうえで、視察も行っていただきたいということで、必ずしも、例年2泊3日で行っていただきますけれども、2泊3日に限らず予算の範囲内で、逆に1泊2日を2回ですとか、そういったケースもあり得るのかなというふうに捉えております。そして、そのテーマに対して政策提案がきちっとできるようなことをしてほしいということで、強く議長から話がありましたので、みなさんご協力をよろしくお願いいたします。

3点目のおでかけ委員会等についてですが、これも閉会中の調査事項と同様ですけど、できれば閉会中の調査事項とあったような形で行って欲しいというご意見もありました。これも、回数が何回というよりも、テーマに合わせた形で関係する諸団体等がありましたら、考慮に入れて、回数に限りなくできるだけ意見交換ができればなと考えていますので、みなさんご協力をよろしく申し上げます。

以上が委員長連絡会議の報告ですが、ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで委員長連絡会議の報告を終わります。

協議題1「所管事項の報告について」を議題とします。

本日は、当局から各委員に資料が配布されておりますので、資料に基づき補足説明をお願いしますが、当局におかれましては、本年度の特徴的な事業について簡潔な説明をお願いしたいと思います。

それでは、福祉部から所管事項の説明をお願いします。

○笠井厚伸福祉部長

【福祉部資料に基づき概要説明】

○山田宰地域福祉課長

【福祉部資料、3～48頁に基づき説明】

○倉本裕土地域福祉課長主幹

【福祉部資料、49～52頁に基づき説明】

○寺澤政宏生活援護課長

【福祉部資料、53～60頁に基づき説明】

○山本兼弘保健センター事務長

【福祉部資料、61～76 頁に基づき説明】

○高浪浅夫介護保険課長

【福祉部資料、77～86 頁に基づき説明】

○竹内宏行保険年金課長

【福祉部資料、87～128 頁に基づき説明】

○澤田勝委員長

以上で福祉部の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

生活保護費の受給日に、大変なにぎわいというか、こわいというか、身体のを害を加えられるような、そういう状況だということで、もらう方も全く権利だということで、皆さん税金からいただいているという意識もないわけなんですけど、そういうどたばたというか、思いができてないような、そういう状況を変えるべきだと思うんですけども、例えば撮影するとかということで、もうちょっと担当者も安心して対応できるような形にするべきじゃないかなという気がするんですけど、どうなんでしょうか。

○寺澤政宏生活援護課長

昨今の生活保護ということで、いろいろ新聞で、先日もケースワーカーが刺されたということも載っていました。私ども、複数で対応するとか、事務所で面接する場合は、必ずドアを開けて対応するなどして、ケースワーカーに危害を及ぼさないようにしています。また、生活保護を受ける人も権利意識が強いということで、それにつきましては相談の面接をするときに、制度のことをよく説明をして、例えば就労能力を活用していない人には、そういったことが一番、受ける前に義務としてやっていただくことなんだよということを、細かく説明していくしかないと考えています。

○山本博信委員

支給日の混乱、これを治めていただくにはどうしたらいいかなという思いがあるんですけど、どうでしょうか。

○寺澤政宏生活援護課長

窓口での支給の件ですが、私ども現金支給しているのが、約 600 世帯分の 200 世帯ほどです。これにつきましては、なかなか実態がつかめない人が多いということで、現金支給が増えていますけども、一応方向性としては、なるべく現金をやめて、口座にしていきたいということです。1 日しか、毎月 4 日に支給しているんですけど、どうしてもにぎわうというということであれば、時間割を変えたり、支給日を増やすといったことも考えて、集中して、市民に迷惑のかからない方法にしていきたいと考えています。

○山本博信委員

私も 1 度見学したいと思っているんですけど、こわくて出来ないのが現状なんです。担当者なんかもっとこわいと思うんですけど、担当者を守るという意味でも、いろいろ検討していただいて、安心できるような形でやってほしいなと思っているので、これはお願いです。それから、民生委員・児童委員さんが今年変わるということなんですけども、責務の大きさ、消費する時間に比べて、名誉職と言えどもそれまでかもしませんが、単価が非常に寒いというか、少ないところがあるので、重責を担っている方に対しては、それなりと言っただけじゃありませんが、ある程度報酬を考えていかなければいけない気がするんです。

けど、部長さん、最高の責任者でもここではやりますなんてことは言えないと思いますけど、そういうことはひとつひとつ考えて実行していかなければならないと思いますが、いかがですか。

○笠井厚伸福祉部長

今の民生委員さんの仕事が大変な割に報酬が少ないんじゃないかというご意見をいただいたかと思います。ただ、委員の報酬につきましては、国、県等で定められた金額でございまして、半田市が独自に上乘せはしておりませんので、確かに民生委員さん、お願いすることが非常に多くて、民生委員さんからも大変だという声は聞いております。なかなか報酬という形で、労に報いることが難しいわけですが、出来る限りご本人の負担が減らせるように、どうしても担当、受け持ちの担当者の数が増えてくる場合には、民生委員さんの数を増やす、そういったことは県にお願いしたり、そういったこともさせていただいておりますし、また、出来るだけ地域の、地区の民生委員さんの声を聞きたいということで、地区民協等の会合には職員が出て、お話を聞いて、できることは対応させていただくという方向で現在進めておりますので、ただちに報酬を上げるということはなかなか難しいわけでありまして、それ以外の部分でできるだけ民生委員さんにご負担がないように、また活動がしやすいように私どもとしても支援をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。もしまた、民生委員さんの方から、こうした方がいい、こうしてほしいというご要望を、直接議員の皆さまの方に入った場合には、また私どもの方に教えていただければ、参考にしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○山本博信委員

ますますの配慮をお願いしたいと思っております。次に行きます。母子健康増進事業なんですが、非常に素晴らしいことだと思っておりますが、その前の少子化対策ですね、それに伴う不妊治療だとか、そういうものをもっとしっかりやっていただかないといけない気がするんですが、部長さんのお考えはどうなんでしょか。

○保科亮子保健センター主幹

一般不妊治療に関しましては、県は人工授精のみ補助をとということで、削減してまいりましたが、半田市としては一般の不妊治療の検査から、人工授精以外の治療についても、継続で上限5万円というところで事業を進めておりますので、県以上のサービスになっています。

○山本博信委員

対象は非常に幅広くてありがたいなと思うんですけど、金額が5万円ということになると、対象が広がらなくて意味がないというか、その5万円でだいたい終っちゃいますので、対象を広げたら金額も上乘せするような形でやっていただかないと、5万円ではとてもとても不妊治療が出来る金額ではないので、もう少し半田市も考えていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○笠井厚伸福祉部長

金額については、いくらぐらいが適正かと言いますと、たくさんいただければそれに越したことはない和不妊治療受けられる方は思われるかもしれませんが。そういうことは、私どもとしても考えているわけですが、全体の予算の執行に関して、バランスを考えた中で、配分していきますので、実際に不妊治療受けられる方のご意見も伺いながら、いく

らなら適切かってことは検討させていただきたいと思います。先ほど主幹から申し上げたとおり、県が一般不妊治療については、県の補助をカットするということで、昨年から実施されましたけど、半田市においては、一般不妊治療にも必要だという強い考えで、引き続き半田市は助成を進めていますので、そういったことも半田市の姿勢として組み取っていただければありがたいと思います。

○山本博信委員

今不妊治療をされてる方の声を聞いて、金額を改めていきたいという発言がありましたけど、そのまま受け止めてよろしいでしょうか。

○笠井厚伸福祉部長

今この場で、意見を聞いて上げるということは、ちょっと簡単には申し上げられませんが、少なくとも実際に不妊治療を受けている方が、どういったことに困ってらっしゃって、どういったことを望んでらっしゃるか、私どもとしても十分把握する必要があると思いますので、そういったことを把握する中で、金額についてもご意見を伺っていきたくと思っています。

○山本博信委員

金額は二の次でいいと思いますけども、必要なものをどうしたらいいかということをしつかり聞いていただいて、表にして今後の政策に反映していただけるとありがたいなと思いますので、是非今年それをやっていただけるということでよろしいでしょうか。

○笠井厚伸福祉部長

努めてまいります。

○山本博信委員

この前乙川で、議会報告会やったときに、介護保険は1割負担で、デイサービスですかね、グループホームやなんか行っていると120万円1人当たり税金を使ってるんだぞという発言をされた方がいるんですけども、例えばグループホームに入所している方なんですけど、税金いくらかの支給というか、費用というのか、どうなっているんでしょうか。120万円っていうのは大きな金額で、間違っているんじゃないかというような気がするんですけど、一回勉強しますということで前回の文教厚生委員会でお約束したんですけども、その後何もなかったの、ここで説明して教えていただきたいんですけども。

○高浪浅夫介護保険課長

まずグループホームに1月入居されますと、給付費という部分で言いますと、おおむね25万円から27万円程度がかかります。そのうちの1割が自己負担ですので、それ以外のものについては、22万5千円くらいですかね。これについては、そのうちの半分が公費、国と県と市の税金ですね。もう半分は、65歳以上の方の保険料と、40歳から64歳までの第2号被保険者の保険料でまかなわれるという形になりますので、自己負担以外の部分でいきますと、22万5千円程度がかかっているというような計算になります。月額です。

○山本半治委員

74ページの予防接種事業の中の、中段で周知方法というところがあるんですけども、ここに小中学校からの案内配布、その他個別通知を実施しますという記載があるんですけども、小中学校や保育園等を利用して案内を配布するよということと、それと並行して個別の通知をするということか、これはどういう意味かその辺のご説明をいただきたいと思

ます。

○山本兼弘保健センター事務長

チラシ等でご案内を学校等を通じてうわけですが、個別通知につきましては、未接種者を対象にということで、限定しております。

○山本半治委員

それでは最初、案内で送って、その後でチェックをした段階で受けてない人に個別で送るということですね。国の方では、個別通知を推奨しているというような厚生労働省の話もありましたので、ちょっとじっくり読ませてもらいます。それから、風疹の話をしていただきましたけど、半田市内を回ってますと、風疹どうなったという話を聞くもんですから、もし具体的にわかれば、いつぐらいからどんな半田市が考えて見えるのか、決まっているなら教えていただきたいんですけど。

○山本兼弘保健センター事務長

風疹の助成を考えておるんですけど、6月の補正で上程していきたいと考えております。内容につきましては、県が示している内容に準じる形で進めてまいります。

○山本半治委員

もうちょっと具体的に、その辺がどうしても、県の方でって言うとすぐわかりませんので、どんなふうに県と一緒になのか、具体的にわかればありがたいんですけど。

○山本兼弘保健センター事務長

少し細かな内容になりますと、助成額については最高5千円を助成するもので進めていきたいと思っておりますが、この2分の1が県の補助、2分の1が市、残りが個人負担という形になると思います。

【発言する者あり】

○笠井厚伸福祉部長

今ご説明をしましたが、6月議会で補正をお願いしますので、その時に詳しくご説明させていただきたいと思っております。制度設計については、基本的に県が発表した内容に準じた形で半田市も助成する考えですので、よろしく申し上げます。

○山本半治委員

最後になります。ジェネリックの2回実施をしたということですけど、実際にやってみてどんな状況だったのかその辺がわかればお願いします。

○竹内宏行保険年金課長

平成24年度の10月と2月に実施をしたわけなんですけど、1回目は差額が200円以上のジェネリックをとということで、実施したところ220名の方に通知を送らせていただいております。2月に実施した状況は、対象人数が少なかったので100円の差額ということで、458名の方に送付させていただいております。1回目の実施221人の方に対して、すべてアンケート調査を実施して、約40パーセント、88名の方からご回答を得て、検証にあたっております。

○山本半治委員

ちょっとわかりにくいんですけど、要するに88名の方がこれを使っていたってことですかね。

○竹内宏行保険年金課長

アンケートをいただいたということで、実際皆さん使われたということじゃないんですけど、また細かいアンケート結果ありますので、委員の方に配布させていただいて、検討していただきたいと思いますが。

○山本半治委員

やはりせっかくジェネリックやっていただいて、どのくらいお金が減ったかということが知りたいもんですから、その辺の統計は取れるわけですか。取れるならそういうものをしっかり出せていただけると、私たちは市民の方にも言っていきやすいし、こんなにも安くなるんですよということが大事だと思いますので、いかがでしょうか。

○竹内宏行保険年金課長

今数量ベースにつきましては、全体の薬の何パーセント使っているかというのは、毎月のデータとして持っていますが、それがいくらになったという正確な数字、金額的なものはちょっと出ないということです。

○山本半治委員

数字はちゃんと調べれば出るんじゃないですか。実際いくらかっていうのはわかるわけですから。本当に数字的なことも把握していかないと、いかに医療費を減らしていくかということで、やっていただいているものだと思うんですけどね。その辺も検討していただきたいと思います。

○竹内宏行保険年金課長

数量ベースから金額におとせるかどうかデータのものを担当者に聞いて、もし出来れば報告させていただきたいと思います。

○山本博信委員

この前からお願いしているんですけど、福祉センターの賭博とか、特定の方が支配をして、普通の方が使えないという状況があるということが再三と報告してるんですけど、それについての改善策がどうなっているか、文書でいいのであとで教えてください。

○山田宰地域福祉課長

福祉センターにつきましては、随時監視を行っておりますし、今は毎日4回くらいは見に行っていると聞いています。昨日も実は私どもも様子を見に行っていますけども、そういったことはないと聞いています。

○山本博信委員

それと特定の方が支配して、普通の方が普通に使えない状況になっているということも聞いたんですが、それも解消されているのでしょうか。

○山田宰地域福祉課長

おそらく一部のスポーツ施設というか、そういうところだと思いますけど、その部分についても先日社会福祉協議会と協議いたしまして、方向性の方は決めてきていますので、ちょっとまだ2年ほどお時間いただくことになると思いますけど、それまでは人的な対応でいきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○山本博信委員

2年はちょっと長すぎますよね。もっと早く、2年待たないといけないですよ、普通の善良な市民は。もっとはやくやっていただけないでしょうか。

○山田宰地域福祉課長

人的な対応で、そういったことがないようにしていきます。

○澤田勝委員長

他にありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、これで福祉部の所管事項の報告は終わります。

しばらく休憩いたします。

午後 2 時 3 6 分 休 憩

午後 2 時 4 3 分 再 開

○澤田勝委員長

委員会を再開いたします。

次に子育て支援部から所管事項の説明をお願いいたします。

○藤田千晴子育て支援部長

【子育て支援部資料に基づき概要説明】

○江原包光子育て支援課長

【子育て支援部資料、1～34 頁に基づき説明】

○林雅彦幼児保育課長

【子育て支援部資料、35～46 頁に基づき説明】

○澤田勝委員長

以上で子育て支援部の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

虐待の通報が 52 件あるということで、今報告をいただいたんですが、子どもの対応というか、結果というのはどういうふうになったんでしょうか。

○江原包光子育て支援課長

昨年度 52 件ございまして、虐待の通告がありますと、緊急受理会議をさせていただいて、子どもの安否確認をした後、ケース会議を開いて、この子ども、もしくは家庭にとってどうしたらいいかというようなケース検討会議を開いて、対応させていただいています。その後に、当然虐待の怖れがないよということであれば、いわゆる地域の見守りで終わる、もしくは幼稚園、保育園の見守りで終わることもあれば、非常に虐待が、例えば身体で首から上のような場合、緊急性があれば、児童相談所をお願いをし、一時保護などの対応をしていただくという状況です。

○山本博信委員

一番重大な状況の事例としては、どういうものがあるんでしょうか。参考までに教えていただきたいと思えますけど。

○江原包光子育て支援課長

今から 3 年くらい前になるんですけど、本当に半田市において、死亡事例が起きるんじゃないかというような事例がありました。それは小学校の子どもさんだったんですけど、小学校というところではわからなくて、子どものお友達のご両親が発見をされて、連絡をくれたんですけど、体中に竹刀だとかそういうものの傷がすごい形で残っていましたが、本当に緊張感が走った瞬間だったんですけど、そういったような事例もありました。この 52 件の中では、当然泣き声通報というようなことで、近隣のアパートから泣き声が聞こえる

んだけどという通報もありますし、必ずしもすぐ生命の危機がそこにあるというようなものが、すべて52件ではなくて、いわゆる泣き声通報から比較的軽いものもあります。ただ、1件だけ、本当に緊張感走ったのは3年前にそういう事件がありました。

○竹内功治委員

1点だけお願いします。つくし学園につきまして、今後肢体不自由児の受け入れを検討するとありますが、今半田市の方で東海市のあすなろ学園に行くしかないということで、かなりの不自由があるということを知っているわけですが、検討とありますが、具体的に目標とする、これくらいの日程で受け入れをいたいなとか、そういう日程は決まっているのでしょうか。

○林雅彦幼児保育課長

つくし学園の受け入れについては、検討しているのは間違いありません。ただ、受け入れるにあたっては、現状の施設では受け入れが不可能です。現状36人定員でほぼいっぱい状態で、発達障害等で。そうすると施設を増築する、それから職員を加配する、多くの課題があります。したがって、現状ではいつまでにというところまではいっていません。ただ、受け入れるんだったら、これくらいの施設整備が必要だ、これくらいの職員が必要だといふところで検討しているところですので、ご理解いただきたいと思います。

○澤田勝委員長

ほかにご質疑ございませんか。

【「なし」の声あり】

ないようですので、これで子育て支援部の所管事項の報告は終わります。

当局の入替えを行いますので、委員の皆さまはお待ちください。しばらく休憩します。

午後3時04分 休憩

午後3時07分 再開

○澤田勝委員長

委員会を再開いたします。

次に、教育委員会から所管事項の説明をお願いします。

○本間義正教育部長

【教育委員会資料に基づき概要説明】

○岩橋平武学校教育課長

【教育委員会青色の資料、学校教育課（1～44頁）に基づき説明】

○新保幸雄学校給食センター所長

【教育委員会青色の資料、学校給食センター（45～52頁）に基づき説明】

○伊藤浩卓スポーツ課長

【教育委員会橙色の資料、スポーツ課（1～48頁）に基づき説明】

○間瀬浩平生涯学習課長

【教育委員会橙色の資料、生涯学習課（49～74頁）に基づき説明】

○新美逸夫図書館長

【教育委員会橙色の資料、図書館（75～105頁）に基づき説明】

○船橋正巳博物館長

【教育委員会橙色の資料、博物館（106～116頁）に基づき説明】

○古田敏之新美南吉記念館事務長

【教育委員会橙色の資料、新美南吉記念館（117～125 頁）に基づき説明】

○澤田勝委員長

以上で教育委員会の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

学校教育課の資料についてですけど、確かな学力を身につける、夢や目標に向かってということが書いてあるんですけど、3年前、半田学区協議会で当時の校長先生の間瀬先生が、1年生の子どもたちが夏休みまでに英語の授業で半分落ちこぼれるとはっきり言われました。例えば、そういうことがこの施策でかなり改善されると考えてよろしいでしょうか。

○岩橋平武学校教育課長

今小学校、中学校、特に中学校の方です。生活支援員というのを配置しております。生活支援員、いわゆる中1ギャップというのがないように、生活支援員、この中1のところについては、授業内容が大きく変わるということで、授業の補助というふうにつけさせていただいています。今年度これを拡大していく計画はないんですけど、こういったものを活用していく中で、英語教育にも支援していきたいと思っています。

○山本博信委員

しつこいようですけど、これがこの事業でどの程度改善できるのか、その前に、間瀬校長先生が言われた、夏休みで1年生の子どもが半分英語の授業で落ちこぼれちゃうという、これを一度検証していただいて、これを施策でどの程度改善されるのか、しっかり見極めていただきたいと思えますけど、いかがでしょうか。

○本間義正教育部長

ありがとうございます。私、今のお話は初めて聞きましたので、一度各中学校にもお聞きをして、確かな学力、子どもも当然求めているところですので、1学期の段階で半分以上落ちこぼれては非常に困りますので、その辺はしっかりやっていきますので、よろしくお願いします。

○山本半治委員

通学路の安全対策は、国の発表では40パーセントほど推進をしたと聞いておりますけど、半田市ではどのようになっているかわかればおねがいします。

○岩橋平武学校教育課長

半田市では、昨年夏の緊急合同点検で、62個所の緊急点検個所が見つかりました。その内、23件の対策済みということで、対策が済んでいます。それから、警察署等へ要望していくものがあります。その要望済みということで、15件、要望しております。一部対策ということで、4件。対策予定ということで16件あります。その他、私人の土地等で、草とか枝等が生えていて通学路が見にくいとか、そういったものが4件。これは私人への依頼ということで、依頼が済んだという状況になっています。パーセントでは出してないんですけど、今そういった状況で、これが3月6日時点ということで、今ホームページにあげさせてもらっているんですけど、その後4月以降も随時進んでいくということで、進行具合はホームページに出していこうと考えています。40パーセント以上にはなっています。

○山本半治委員

それから、さっき給食センターでかなり老朽化がという話があったんですが、先日南部市場の方の空き地で、出来れば2市4町で給食センターをとという話が確かありまして、あれは島の関係で、どうしても島の関係だけで無理じゃないかという話があったと思うんですけど、素人考えですけど、島だけ除けばオッケーということになれば有効利用ができるんじゃないかと思っているんですけど、その後、そのような話し合いがどのようになっているのか、わかればお願いします。

○新保幸雄学校給食センター所長

学校給食センターの広域化につきましては、先回皆さま方に全員協議会で企画部の方からお知らせをしたとおりでございまして、2市4町の枠組みでは困難だということで、その内容につきましては、委員がおっしゃられたとおり、島への給食の配送が規定の2時間以内に完了できないというのが最大のネックでありまして、それと1箇所の給食センターだけでは、2市4町まではなかなかカバーすると2時間というのがなかなか難しい。それと建設場所の問題につきましても、3箇所提案をいただきましたけど、なかなかいいところがなかったというところもあったかと思えます。今後につきましては、各市町の実情に合わせて検討を続けていきたいと思っておりますので、半田市につきましても、近隣市町にお声掛けをして、意向調査をし、また研究を進める中で、今後進めてまいりたいと考えています。ただ、建設場所につきましては、どこがいいのかということもありますので、半田市としては、知多南部卸売市場がいいんじゃないかという気はしているんですが、他の市町の関係もございまして、今後検討してまいりたいと考えています。

○山本半治委員

南吉記念館ですけど、全国から多くの方に来ていただいている、非常にうれしい思いですけど、実は市内の方がまだまだ、なかなか来てないというのが歩いていますと、感じています。その辺のところ、今後もう少し検討していただきたいと思っておりますけど、どんなふうに考えていますか。

○新美南吉記念館事務長

今年1月の新年号に、市内の方向きに市報に無料券をつけさせていただきました。その甲斐あってというか、その無料券を利用して200名前後の方が、今年になってから来館しています。また今度7月1日号にもう一度、半年有効期限の形の無料券をつけさせていただこうと思っておりますので、そういった形で、市内の方にもたくさん見ていただけるように、また今PRもしておりますが、生誕祭、本日も新聞折り込みを入れさせていただきましたし、様々な形でPRし、市内の方にも足を運んでいただこうと考えています。

○鈴木幸彦委員

学校教育課資料の2ページで説明していただきました、防災キャンプのことで、昨年亀崎小学校で私も参加させていただきましたが、非常に防災教育という意味でよかったかなというふうに思います。今年度は半田小学校というご説明をいただきましたが、それこそいつ起こってもおかしくないということを言われている中で、13小学校ある中で、もうちょっとこういうのは積極的に進めていただけないものかなと思っておりますが、なぜ1つだけ、亀崎小学校と半田小学校の2つということですけど、何かわけがあるのでしょうか。

○岩橋平武学校教育課長

まったく我々も同感で、今回校長会の中で防災交通課からもお願いをしていただくなか

で、今年度、4月の校長会でしたか、その議題を受けて、夏の事業、夏休みの中の事業になるので、今回手が上げられたのが半田小学校だけだったんですけど、去年は亀崎小学校だけだったんですけど、加えて半田小学校。そこでは地域の方のどうしても支援が必要なので、もう少し早い段階から地域の方とも計画を作る中でやっていくということで、来年以降はまだ増やしていきたいというふうに考えています。今年は2校ということで、1校だけ増えたということですのでよろしくお願いします。

○澤田勝委員長

ほかにご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、教育委員会所管の説明はこれで終了します。しばらく休憩します。

午後3時44分 休憩

午後3時54分 再開

○澤田勝委員長

委員会を再開いたします。

協議題2「閉会中の調査事項について」を議題とします。

文教厚生委員会の閉会中の調査テーマ、平成15年度から昨年度までの主なテーマ一覧を配布させていただきました。これを参考にとりか、参考にしなくてもけっこうなんですけど、先ほど冒頭で議長のお話を申し上げたとおり、閉会中のテーマにつきましても、今回慎重に決定をしたいと考えております。テーマを決めることが、おそらく9割のお仕事なのかなというふうに思っています、実行できるような政策提案をしたいと考えておりますので、今日はそういう意味で、平場でと言いますか、ご意見をぶつけあいながら、今日決めなければならない、決まればけっこうですけども、今日決めることを目的とせず、少し協議もしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

しばらく休憩します。

午後3時55分 休憩

午後4時29分 再開

○澤田勝委員長

委員会を再開します。閉会中の調査テーマにつきましても、一旦の持ち帰りをいただきまして、次回の委員会、6月21日、金曜日の午後1時半から委員会を行う中で最終決定をしたいと思っております。その前に委員間討議を6月17日、月曜日の午前9時から行いたいと思っておりますので、よろしくお願いします。今各部長からいただきました課題につきましても、データとして各委員さんにお渡ししますので、遅くとも来週の月曜日にはメール等でご提示いたしますのでよろしくお願いします。協議題3、行政視察の行先、日程につきましても、テーマが決定してから日程を調整したいと思いますので、今日の段階では割愛させていただきます。市内視察についてですが、これについても、例年ですと、文教厚生委員会に係る施設を選択してまわっているんですけど、今回に関しては、できるだけテーマに関連するところがあれば出向きたい。1日使うとは考えていません。そういう形で考えておりますので、場所等につきましても、正副委員長にご一任いただく方向で、テーマが決定し次第、決めたいと思っておりますので、よろしくお願いします。おでかけ委員会に関しても、テーマが決定し次第、正副委員長でいろいろ調べさせていただいて、進めますのでよろしくお願いします。

それでは協議題4、その他に移りたいと思います。その他について何かありますか。

○本間義正教育部長

私ども教育委員会で、昨年度いじめに関して文教厚生委員会のメンバーと教育委員さんで懇談会をやらせていただいた経緯があるんですけど、今年度についても、閉会中の調査テーマがどうなるかわかりませんが、そういった方向で考えた方がいいのか、いかがでしょうか。

○澤田勝委員長

教育委員さんとの意見交換会につきましては、委員長として、副委員長と相談していませんが、委員長の考えとしては、意見交換会を続けていきたいと思っていますので、日程調整も含めてご検討をお願いしたいと思います。

○山本博信委員

今教育部長が言われたように、閉会中の調査テーマだけに縛られずに、その他に興味のあることだとか、危機的なことだとか、そういうことでこういうところがあるところがあれば、そういうところも含めてやっていただければいいかなと思います。テーマに縛られずに広い視野でやってもらった方がいいかなという気がします。

○山本半治委員

できればどんどん現場でいろんなもの見たいなと思ってまして、実は、10日の月曜日に、初めてだったんですけど、半田中学校が、給食と一緒に生徒と食べさせてくれるということで、そんなことは今までなかったんですけど、どんどんこんなことが出来て、中学生と一緒に食事をしながら、どんな今学校の雰囲気か見たいと思っていますし、そういうなんか、肌で感じるようなことができれば、委員会でやっていきたいと思っています。

【発言する者あり】

○澤田勝委員長

ほかにありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、これで文教厚生委員会を閉会します。

午後4時35分 閉会